

5. アート作品展示・ Bangladesh

(雨天により海岸清掃は中止)

5.1 イベント概要

- ・ イベント名：Let's enjoy Beach clean & Bangladesh culture!!
- ・ 日時：令和3年11月23日
- ・ 場所：海洋ごみアート作品展示…旧野波小学校，国際交流…島根町野波集会所
- ・ 参加数：海洋ごみアート作品展示…21名，国際交流…15名
- ・ 新規参加者数：海洋ごみアート作品展示…約15名，国際交流…14名
(新規参加者の基準：作品展示…しまね LINK 主催の海洋ごみのアート作品展示を初めて見た人)

5.2 イベントの様子



国際交流の集合写真



アート作品展示の様子1



アート作品展示の様子2

5.3 アンケート結果

□アンケート回答数：9

性別	人数（名）
男性	7
女性	1
その他	0
回答なし	1

年代	人数（名）
10代	1
20代	3
30代	1
40代	3
50代	0
60代	1
70代	0
80代	0

イベントに参加した人	人数（名）
あなた（ご自身）	8
お子さま	0
あなたのお子さまと、あなたご自身（または保護者）両方	1

お子さまの年齢	人数（名）
未就学児	1
小1-小3	0
小4-小6	0
中学生	0
高校生	0

居住地	人数（名）
島根県松江市	3
島根県松江市島根町	1
島根県	1
島根県松江市黒田町	1
島根県松江市雲南町	1

奈良県葛城市	1
回答なし	1

イベントを知ったきっかけ（複数回答）	人数（名）
口コミ	6
テレビ	0
新聞・雑誌	0
WEB サイト	0
SNS	2
学校行事	0
通りがかった	0
その他	2
・スタッフからの紹介	(2)

参加理由（複数回答可）	人数（名）
海が好き	4
子どもに（海を）体験させたかった	0
海に興味があり、イベント内容も面白そう	6
海に興味はないが、イベント内容が面白そう	0
子どもだけで参加できる	0
親子で参加できる	1
自由研究の題材になる	0
費用がかからない・安価	1
知的好奇心が満たされそう	3
SDGs に興味があった	3
学校行事として	0
子どもが興味を持ったから	0
海の幸（食）に興味があった	1
その他	2
・高校時代に同じイベントを行ったことがあります	(1)
・地元	(1)

海への関心は高まったか	人数（名）
高まった	9
高まらなかった	0

☆海への関心の高まり度 100%

イベントの満足度	人数 (名)
満足したし、また参加したい	8
満足したが、1回でいい	1
どちらともいえない	0
一部満足できなかったが、また参加してもいい	0
満足できなかった.もう参加しない	0

☆満足度 100%

(※満足したし、また参加したいと満足したが、1回でいいと回答した人の割合)

○他にあると参加したいイベント

- ・海の生き物（ウニやサザエ）を増やす.
- ・今回のようなゴミ問題が嬉しいです.親子で学びになります.

○感想

- ・バングラデシュという国の現状について、考えさせられる内容でした.プレゼンテーションについては、これから習熟してください.
- ・バングラデシュいつか行ってみたい！！
- ・バングラデシュについて、豊かな自然とそこに生活する部族、一方でのごみ問題.様々な角度から学ばせていただきました.
- ・島大生の方が頑張って考えられたイベントで、元気をいただきました.カレーがとてもおいしかった.
- ・ゴミについてのいしきが高まりました.バングラデシュのちしきがす少しできました.
- ・日本海の海は寒い.
- ・トマさんの料理がおいしかったです！海ごみの多さにおどろきました.今日の海は荒れてて怖かったです.

5.4 事業報告書

取組項目：イベントの報告

イベント報告

1. 日時 令和3年11月23日(火)

廃校展示：11時00分～12時00分

国際交流：12時00分～14時00分

2. 場所 廃校展示：旧野波小学校 国際交流：島根町野波集会所

3. 参加者 廃校展示：大人17人・子ども4人

国際交流：島根町の方々&一般参加者 計15名

4. 目的

同じビーチクリーン活動をしている島根県松江市島根町と鳥取県大山町との新たな交流をはかるため、また、島根町と同じ海洋ごみの問題を抱えているバングラデシュについて、バングラデシュ出身のメンバーがビーチクリーンを通して感じたことについて楽しく学びながら知ってもらうため

(ビーチクリーンは強風により中止)

5. 内容

(1) 廃校展示：島根町、鹿島町、美保関町などで拾った海ごみの展示と海ごみのアート作品展示 (60分)

(2) 国際交流：バングラデシュランチをいただく。(60分)

バングラデシュの文化や海洋ごみなどの環境問題について学ぶ。(60分)

状況写真



※撮影時のみ集合し、マスクを取っています
国際交流の集合写真（撮影時のみマスクを取っています）



廃校展示の様子 1



タイトル
鳥取県

廃校展示の様子

2021年11月25日



報道関係者各位

**15人が参加！島根町野波で Let's enjoy Beach Clean
& Bangladesh Culture!!を開催しました！**

2021年11月23日 11時～ 島根町野波

しまね LINK は、同じビーチクリーン活動をしている島根県松江市島根町と鳥取県大山町との新たな交流をはかるため、また、島根町と同じ海洋ごみの問題を抱えているバングラデシュについて、バングラデシュ出身のメンバーがビーチクリーンを通して感じたことについて楽しく学びながら知ってもらうために、11月23日に Let's enjoy Beach Clean & Bangladesh Culture!!を開催いたしました。

このイベントは、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。





※撮影時のみ集合し、マスクを取っています

イベント概要

- ・ビーチクリーンと国際交流 ～バングラデシュ～
- ・11月23日
- ・島根県松江市島根町野波
- ・ビーチクリーン：強風のため中止，海ごみのアート作品展示：21人，国際交流：15人
- ・協力団体：紅花有紀さま，LOCOBLUE さま，山陰だんだん屋台村さま，
木料キレイ PROJECT 実行委員会さま

島根町と大山町，島根町とバングラデシュがつながる

島根町と大山町を結ぶ「地域つながるイベント」として，大山町と同じ時間に実施する予定であったビーチクリーンは強風のため中止となりました。廃校で行った海ごみのアート作品展示では，その場で自由にアートを制作するコーナーで「鳥取県」を表現する方もいらっしゃいました。国際交流では，バングラデシュランチをいただきながら，島根とバングラデシュの海の違いをしまね LINK メンバーのトマさんにお話しいただき，交流しました。参加者の方からは，「バングラデシュという国について部族や環境問題など様々な角度から学ばせていただきました。」「ごみについての意識が高まりました。」などというお声をいただき，いずれも素敵なイベントになりました。





タイトル
鳥取県

「地球の海を守りたい」という想いは人と人をつなぐ橋となる

今回のイベントでは、2つのきっかけづくりを大切にしました。1つ目は、島根町の海洋ごみの現状を知っていただくきっかけづくりです。本来予定していたビーチクリーンをすることはできませんでしたが、廃校を活用した海洋ごみと海洋ごみアート作品の展示では、島根町にたどり着く海洋ごみを実際に見て触れていただきました。また、お子さまから大人まで幅広い世代で楽しめるアートを通じて、楽しみながら現状について知っていただきました。2つ目は、バングラデシュの海を知るきっかけづくりです。バングラデシュでは日本と同じように海洋ごみの問題を抱えています。島根でのビーチクリーンや海洋ごみの現状を伝える活動を行っているバングラデシュ出身の方による、自らの経験を基にした自国を伝える生の声はとても大切なものです。島根町とバングラデシュという新たな文化交流に加え、海洋ごみについての交流が生まれました。「地球の海を守りたい」という想いは国を超えた人と人をつなぐ橋になります。たくさんの国のカラーや個性が加わり、この橋がさらに大きく美しいものになるよう、生まれたつながりを大切にして今後も世界の海を知るきっかけづくりを行っていきたいと思います。



団体概要

団体名称 : しまね LINK
本社所在地 : 島根県松江市東津田町 765-3
電話番号 : 080-3379-0989
代表理事 : 石神夏萌
設立 : 2020年04月01日
URL : [https://facebook.com/しまね link-106662844793439](https://facebook.com/しまねlink-106662844793439)
活動内容 : 「私たちが、まず感じ、楽しく学ぶ。」ことを大切にしながら、海の問題に興味を持っている方だけではなく、環境問題に興味がない方や日常生活で海と関わりを持つことが少ない方にも、島根県の家ごみ問題に興味を持ってもらうようなきっかけづくりを行っています。



日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海.そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

お問い合わせ先

しまね LINK 広報担当 : 高尾朋佳

電話 : 090-5166-5684

メールアドレス : shimanelink3377@gmail.com

しまね LINK は、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、次世代へ海を引き継ぐため、海を介して人と人がつながることを目的として、本事業を実施しています。

6. 海岸清掃×モルック

6.1 イベント概要

- ・ イベント名：ビーチクリーンとモルックをしよう！
- ・ 日時：令和4年3月21日
- ・ 場所：島根町小波海岸
- ・ 参加数：3名
- ・ 新規参加者数：3名

6.2 イベントの様子



※一時的にマスクを外して撮影しています。

ビーチクリーン後の様子



拾ったごみの重さを量る様子



モルックをして交流する様子

6.3 アンケート結果

□アンケート回答数：3

性別	人数（名）
男性	3
女性	0
その他	0

年代	人数（名）
10代	0
20代	2
30代	1
40代	0
50代	0
60代	0
70代	0
80代	0

イベントに参加した人	人数（名）
あなた（ご自身）	3
お子さま	0
あなたのお子さまと、あなたご自身（または保護者）両方	0

居住地	人数（名）
島根県松江市	3

イベントを知ったきっかけ（複数回答）	人数（名）
口コミ	0
テレビ	0
新聞・雑誌	0
WEB サイト	0
SNS	2
学校行事	0
通りがかった	0
その他	1
・友人からの紹介	(1)

参加理由（複数回答可）	人数（名）
海が好き	3
子どもに（海を）体験させたかった	0
海に興味があり，イベント内容も面白そう	2
海に興味はないが，イベント内容が面白そう	0
子どもだけで参加できる	0
親子で参加できる	0
自由研究の題材になる	0
費用がかからない・安価	0
知的好奇心が満たされそう	2
SDGsに興味があった	2
学校行事として	0
子どもが興味を持ったから	0
海の幸（食）に興味があった （アサリの試食会）	1
その他	1
・気晴らし	(1)

海への関心は高まったか	人数（名）
高まった	3
高まらなかった	0

☆海への関心の高まり度 100%

イベントの満足度	人数（名）
満足したし，また参加したい	3
満足したが，1回でいい	0
どちらともいえない	0
一部満足できなかったが，また参加してもいい	0
満足できなかった.もう参加しない	0

☆満足度 100%

（※満足したし，また参加したいと満足したが，1回でいいと回答した人の割合）

⇒その理由

- ・天気の良い日にスポーツをするという体験ができたため.

○他にあると参加したいイベント

- ・わかめとか海藻類の育成体験とか？

○感想

- ・今日は暖かくて風がなく、スポーツをするのには絶好の天候でした。そんな日に思う存分モルックを楽しめたのは非常に良い経験になりました。この活動がもっと広がることを願っています。
- ・「海と日本プロジェクト」についてもう少し説明があると"ジブンゴト"としてより捉えられるのかなと思いました。
- ・海には多くのゴミが流れ着いているということを実感した。

6.4 事業報告書

取組項目：イベントの報告

イベント報告

1. 日時 令和4年3月21日（月）13時00分～16時00分

2. 場所 島根町小波海岸

3. 参加者 一般参加者 計3名

4. 目的 海の現状とアウトドアスポーツ「モルック」

（※）の魅力をお伝えするため

※モルックとはフィンランドカリレア地方の伝統的なゲームを基に開発されたスポーツです。モルック（投げる棒）を投げて倒れたスキットル（木製のピン）の内容によって、50点ピッタリになるまで得点した方が勝ちとなります。

5. 内容

（1）自己紹介では海にまつわるのエピソードを共有した後、島根町小波海岸でのビーチクリーンを実施した。（60分）

（2）拾ったごみの重さを量った。ごみ袋の数は12個。重さは75kgであった。（10分）

（2）モルックを体験し参加者と交流した。（90分）

状況写真



※一時的にマスクを外して撮影しています。

ビーチクリーン後の集合写真（撮影時のみマスクを取っています）



拾ったごみの重さを量る様子



モルックをして交流する様子



報道関係者各位

しまね LINK

**海の現状を学び、アウトドアスポーツを体験
島根町小波海岸で「ビーチクリーンとモルック
をしよう！」を開催しました！**

2022年3月21日（月） 13時～16時 小波海岸

しまね LINK は、海の現状とモルックの魅力を知ってもらうため、3月21日に「ビーチクリーンとモルックをしよう！」を開催いたしました。

このイベントは、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。



※一時的にマスクを外して撮影しています。



イベント概要

- ・開催概要：ビーチクリーンとモルックを楽しむイベント
- ・日程：2022年3月21日（月）
- ・開催場所：島根町小波海岸
- ・参加人数：3人

ビーチクリーンとモルック

今回のイベントで行ったアウトドアスポーツ「モルック」は年齢や国籍関係なく楽しめるスポーツです。しかし、モルックの魅力を知る方は多くありません。そこで、モルックを通して多くの人と関わり、海への想いを聞いたり話したりしながら交流するイベントを開催しました。

はじめに参加者のみなさんとのご挨拶で、海に関するエピソードを交えて交流した後、ビーチクリーンをしました。その後、きれいになった海岸でモルックを楽しみました。モルックとはフィンランドカリレア地方の伝統的なゲームを基に開発されたスポーツです。みなさんからは「スポーツをするのには絶好の天候で思う存分モルックを楽しめたのは非常に良い経験になりました。」「海には多くのごみが流れ着いているということを実感しました。」というお声をいただき、海洋ごみとモルックについて楽しく知り学べる素敵なイベントとなりました。また、拾ったごみの重さは75kgであり、海洋ごみの多さを視覚的に感じることができました。

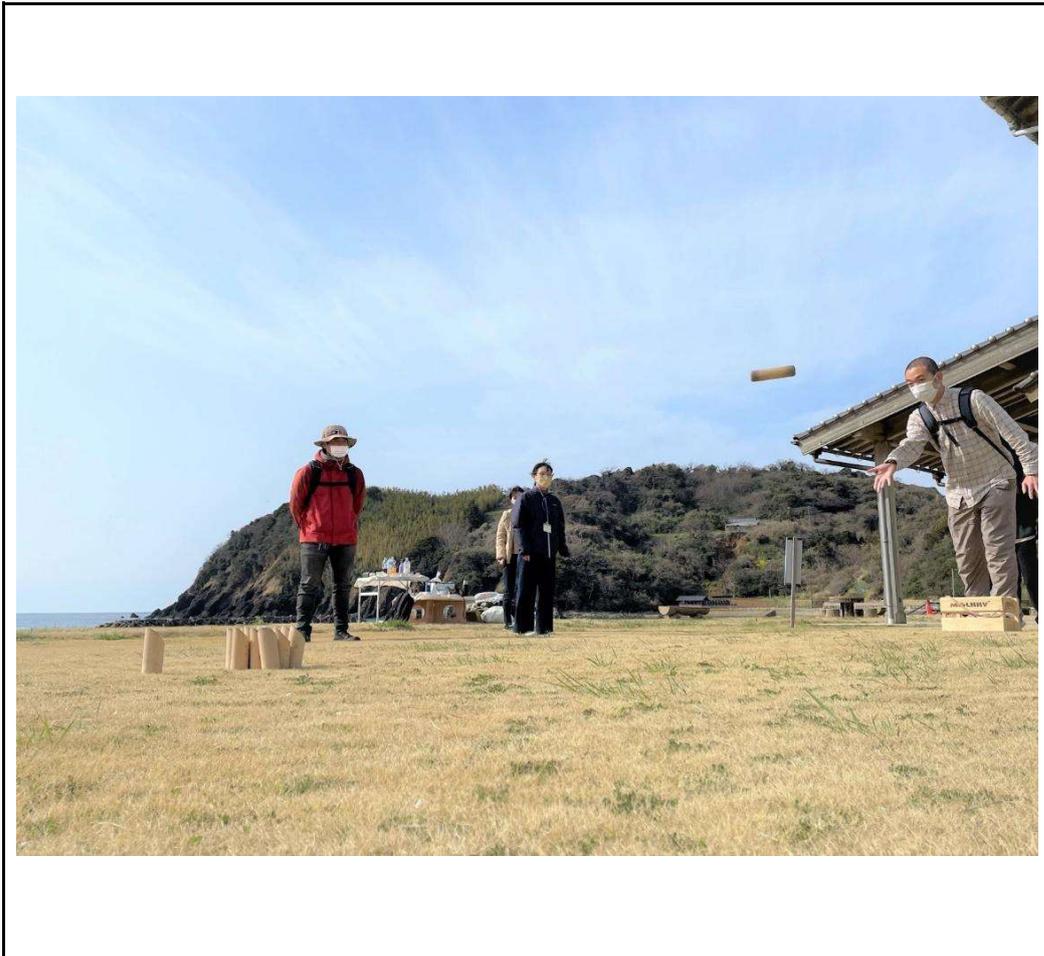




誰かと一緒にすること

ビーチクリーンとモルックには共通点があります。それは、どちらも誰かと一緒にすることによって新しい見え方が生まれるという点です。例えば、ビーチクリーンの場合は海岸で大きなごみを見つけたとき、拾う仲間がいれば「一緒に運べるから拾おう！」と考えたり、「格好いい姿をみんなに見てもらいたい！」と思い、より一生懸命に海岸をきれいにしたりすることができるのではないのでしょうか。また、モルックの場合は「次の人はあの数字のピンを狙うはずだから、僕はこうしてみよう！」やチーム戦の場合は「メンバーがこう行動したから、僕はこうしよう！」などのように感じることはないのでしょうか。つまり、ビーチクリーンもモルックも、誰かと一緒に同じ活動をするにより新たな感情を生み出し自身の行動を変化させることに繋がるのです。

今回のイベントは、ビーチクリーンをしてきれいになった海を背景に参加者や地域の方々と一緒にモルックの魅力を見つけて楽しんでいただけるようなものとなりました。今後もビーチクリーンを日常のひとつとして楽しんでいただき、みなさんに海の美しさを守る大切さや人と繋がり一緒に活動することで新しい見え方が生まれ、それが行動の変化に繋がる楽しさを感じていただけるような活動を続けていきます。



団体概要

団体名称 : しまね LINK
本社所在地 : 島根県松江市東津田町 765-3
電話番号 : 080-3379-0989
代表理事 : 石神夏萌
設立 : 2020年04月01日
URL : <https://facebook.com/しまねlink-106662844793439>

活動内容 : 「私たちが、まず感じ、楽しく学ぶ。」ことを大切にしながら、海の問題に興味を持っている方だけではなく、環境問題に興味がない方や日常生活で海と関わりを持つことが少ない方にも、島根県の海洋ごみ問題に興味を持ってもらうようなきっかけづくりを行っています。



日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海.そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

お問い合わせ先

しまね LINK 広報担当：高尾朋佳

電話：090-5166-5684

メールアドレス：shimanelink3377@gmail.com

しまね LINK は、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、次世代へ海を引き継ぐため、海を介して人と人がつながることを目的として、本事業を実施しています。

②-1 アンケートまとめ

○イベントの参加人数について

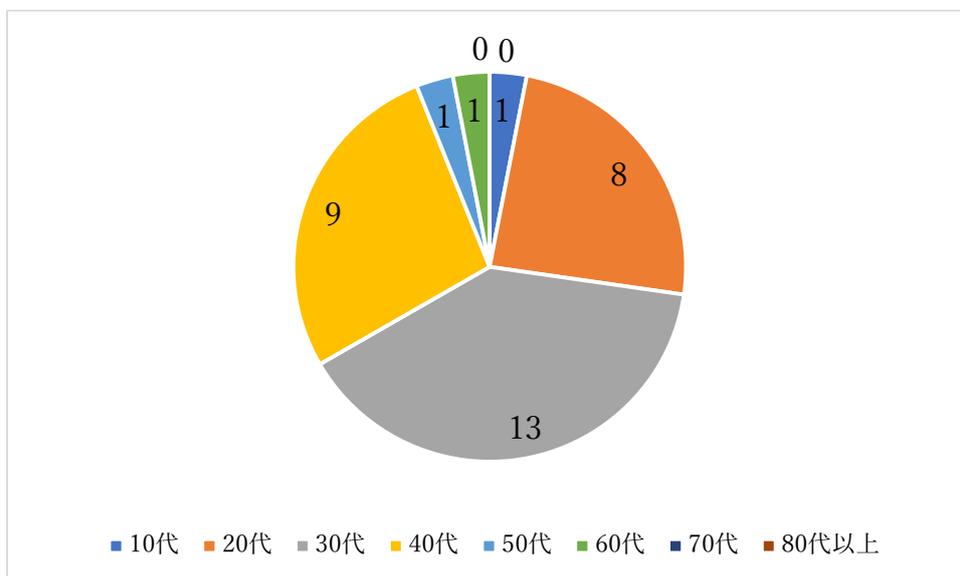
- ・累計参加者数：約 150 名
- ・新規参加者数：約 120 名

○アンケート回答者について

- ・アンケート回答者の年齢

アンケート回答者の年齢についてその割合をグラフに表した。

数字は累計回答者数を表している。



- ・以下の項目に対する質問の累計回答者数について表にまとめた。

なお、第1回目のイベントを除く。

イベントに参加した人	累計回答者数 (名)
あなた (ご自身)	14
お子さま	8
あなたのお子さまと、あなたご自身 (または保護者) 両方	10
回答なし	1

・お子さまの年齢

お子さまの年齢の累計回答者数について表にまとめた。なお、第1回目の6月イベントを除く。

お子さまの年齢	累計回答者数（名）
未就学児	11
小1-小3	6
小4-小6	2
中学生	0
高校生	0

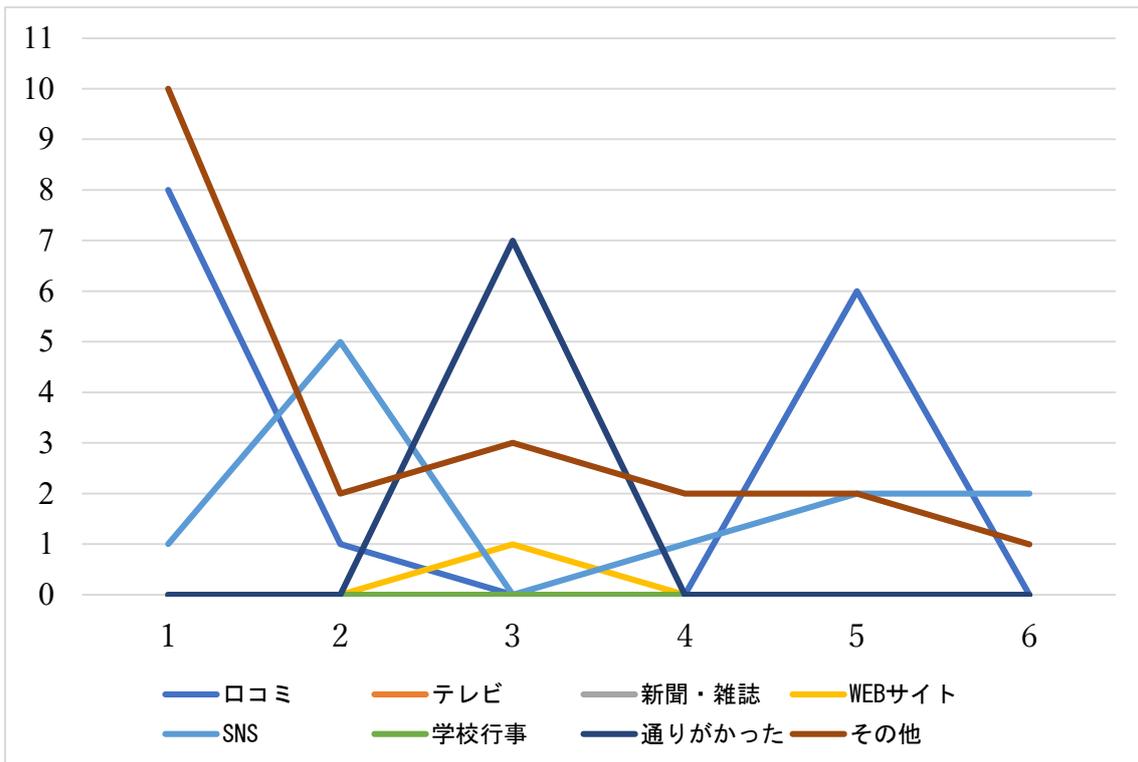
○イベントを知ったきっかけ

・累計回答者数を表にまとめた。なお、第2回目のイベントのみ複数回答となっている。

	累計回答者数（名）
口コミ	15
テレビ	0
新聞・雑誌	0
Webサイト	1
SNS	11
学校行事	0
通りがかった	7
その他	20

・イベントを知ったきっかけについて、イベントごとにグラフで表した。

※第1回目の6月イベントでは、Instagram・FacebookをSNSに置き換えた。



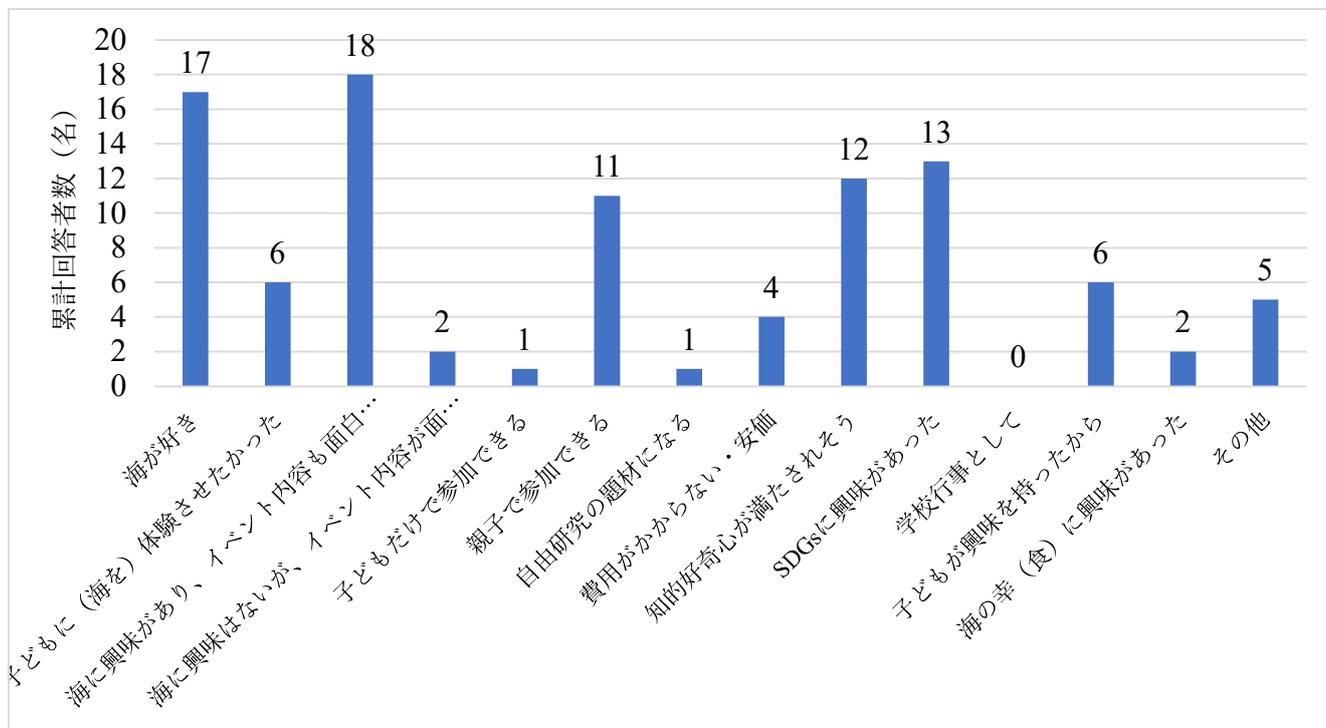
・その他の内訳

その他の内訳について表で表した。

	累計回答者数 (名)
スタッフからの紹介	9
友人・知人からの紹介	6
子ども地球教室で (出前講座を実施した)	2
イオンのイベント告知看板	1
風のうわさ	1
回答なし	1
合計	20

○イベントへの参加理由

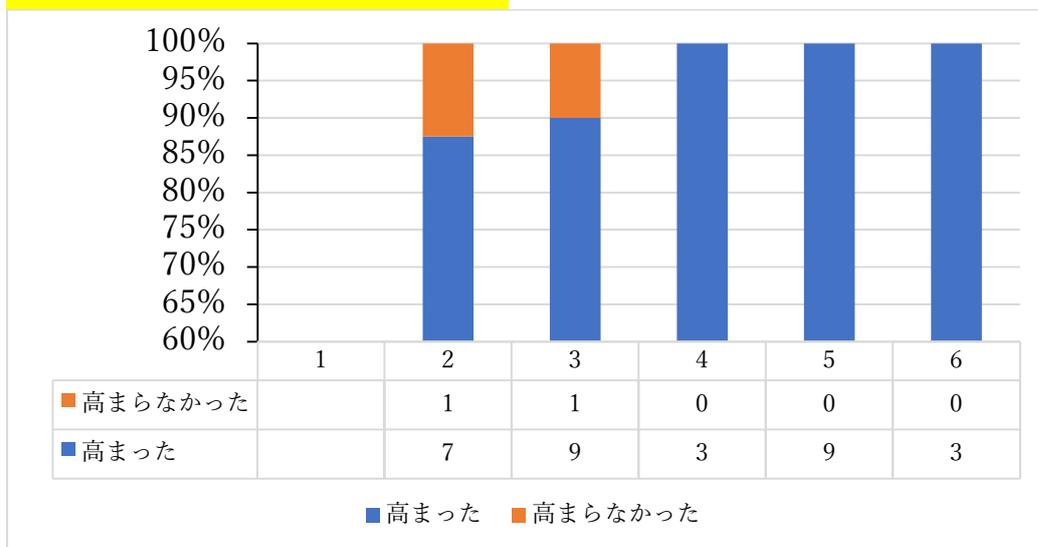
イベントへの参加理由をグラフに表した。



○海への関心の高まり度

それぞれのイベントの海への関心の高まり度をグラフで表した。データテーブルの数字はアンケート回答人数を示している。なお、第1回目の6月イベントを除く。

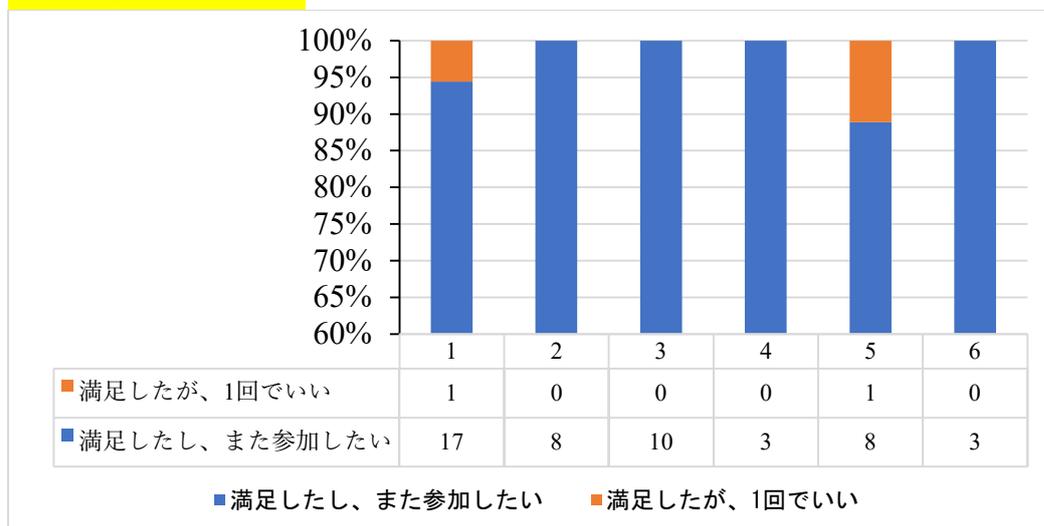
☆海への関心の高まり度の平均：93.9%



○満足度

それぞれのイベントの満足度の割合をグラフで表した。データテーブルの数字はアンケート回答人数を示している。

☆満足度の平均：100%



※6月イベントの「大変満足した」、「満足した」をそれぞれ「満足したし、また参加したい」、「満足したが、1回でいい」と置き換え計上した。

7. 海岸清掃とごみ洗い等

○海岸清掃

- ・日時：2021年6月3日（水）
- ・場所：島根町海岸



集合写真

- ・日時：2021年7月16日（金）
- ・場所：島根町小波海岸



ビーチクリーンの様子

- ・日時：2021年8月31日（火）
- ・場所：美保関海岸（数か所）



ビーチクリーンの様子



拾ったごみでアート制作をした様子

・日時：2021年9月1日（水）

・場所：美保関海岸



ビーチクリーンの様子

・日時：2021年9月6日（月）

・場所：鹿島町古浦海岸



ビーチクリーンの様子



ビーチクリーンの準備の様子

- ・日時：2021年11月28日（日）
- ・場所：鹿島古浦海岸



ビーチクリーン、ビーチコーミングの様子



- ・日時：2022年1月10日（月）
- ・場所：島根町小波海岸



ビーチクリーンの様子



集合写真

○洗い（美保関小学校で実施したビーチクリーンで拾った海洋ゴミ）

・日時：2021年11月3日（水）

場所：島根町野波海岸



ごみを洗う様子



洗ったごみを乾かす様子

○ごみの種類分け

・日時：2021年9月10日（金）

・場所：旧野波小学校



ごみを種類分けする様子



種類分けしたごみを持っている様子

③海と暮らしの繋がりを考えるカードゲーム制作および体験会の実施

◎事業目標：体験会の開催3回，参加者の満足度80%以上（アンケートにて調査），
体験会参加者100名

※新型コロナウイルスの影響を考慮し，大勢の参加者を集めたカードゲーム体験会を実施しないと判断したため，関係者でのみ少人数の体験会を実施した。

◎事業概要・内容

- ・時期：2021年5月～2022年3月
- ・内容：カードゲーム100セット制作，体験会の実施

1. カードゲームの概要

カードゲームとは，を目的としたものである。制作にあたり以下のことを行った。

- 1.1 聞き取り調査
- 1.2 アンケート調査
- 1.3 内容精査、印刷依頼
- 1.4 完成、箱詰め作業

日時：2022年3月23日（水）

市役所の一室を借りて，カードゲームの箱詰め作業を実施した。



カードゲームを並べている様子



カードゲームを種類に分けている様子



箱詰めしたカードゲームを段ボールに詰めている様子

2. 体験会

2-1 概要

日時：2022年3月25日（金）11:30-12:30

場所：市役所交流スペース

参加人数：8人

2-2 体験会の様子



グループごとに体験



グループごとに体験2